

「有機EL研究開発25年：これまでとこれから」

有機ELは、1987年の米Eastman Kodak社のC. W. Tangらによる薄膜積層構造の提案から、燐光発光、マルチフォトンエミッション構造等のブレークスルーを経て、環境にやさしい高効率な次世代光源としての地位を確立してきました。有機ELは日本が世界を牽引してきた分野であり、一部製品化が進んでいますが、まだ学会として取り扱う部分は、奥深く広範囲に広がっており、より深く解明すべき内容が多々あります。今後、新原理に基づく新規材料、新デバイス開発や外部量子効率の更なる改善に向けて、研究開発を進めていく上で指針となるべく、特別シンポジウムを企画しました。その発展に貢献してきたEL研究開発の拠点の1つである山形にて、今後も世界をリードし続けるために、有機ELのこれまで、これからを議論したい。

日時： 2011年8月29日(月)9:20-18:00

会場： 基盤教育棟2号館 2F-222 (ZF会場)

<9:20-9:50>

1. インタロダクトリートーク： OPC感光体から有機ELへ
横山 正明 (阪大)

<9:50-10:50>

2. 特別講演： 白色有機EL：研究室から量産まで
城戸 淳二 (山形大)

<10:50-11:30>

3. MoOxの正孔注入効果の発見とその後の進展
時任 静士 (山形大)

昼食 11:30-13:00

特別コラボレーション企画(主催：(株)日刊工業広告社)
： 有機EL特別展示 会場：第2体育館

<13:00-13:40>

4. 有機TFTで駆動したフレキシブル有機ELディスプレイ
八木 巖 (ソニー)

<13:40-14:20>

5. 光る高分子： 高分子有機EL材料の開発と今後の展望
山田 武, 津幡 義昭 (住友化学)

<14:20-15:00>

6. 有機EL照明の現状と将来展望
菰田 卓哉 (パナソニック電工)
<休憩 15:00-15:20>

<15:20-16:00>

7. 有機EL素子の光学デザイン - 無損失光源へのアプローチ
三上 明義 (金沢工業大学)

<16:00-16:40>

8. 有機EL素子の電子構造研究：
超高真空中のモデル界面から大気雰囲気下の実用界面まで
石井 久夫 (千葉大)

<16:40-17:20>

9. 有機EL素子特性の作製条件依存性 - その起源を探る
梶 弘典, 福島 達也, 福地 将志(京大), 安達 千波矢(九大)

<17:20-18:00>

10. 有機発光材料の新展開
安達 千波矢 (九大)



世話人：梶井 博武(阪大), 中山 健一(山形大), 野口 裕(千葉大), 横山 大輔(山形大)

お問い合わせ先：応用物理学会事務局 TEL03-3238-1044 e-mail: technical-meetings@jsap.or.jp

100年の歴史に学ぶ超伝導

～新たな100年の発展に向けて～



ヘイケ・カメルリング・オネス

超伝導はちょうど100年前にオランダのカマリン・オネスによって発見された特異な物理現象です。これまでに数多くの超伝導体が開拓されるとともに、近年、エネルギー、輸送、医療、材料プロセスなど幅広い応用分野において種々の超伝導システムが開発・利用される時代に至り、さらに超伝導技術は21世紀のキーテクノロジーとして期待されています。

本特別シンポジウムでは、この超伝導発見100周年を記念し、様々な分野における超伝導材料・応用機器の研究開発のあゆみを振り返るとともに、次の100年に向けての展望についても議論し、超伝導研究者以外の幅広い分野の研究者・技術者、および一般の人にも超伝導の歩みと現状、将来について知っていただく機会とすることを目的としています。

プログラムは三部構成とし、午前中(第一部)は材料開発・現象解明といった基礎的な事柄を中心に扱い、午後の第二部の冒頭にシンポジウム内特別講演の位置づけで開発の歴史の総括と新たな100年に向けての展望を述べていただき、続いての講演で応用開発の核の一つである、高温超伝導線材開発の現状をご紹介します。最後の第三部においては、パワー・デバイス分野の応用開発の現状と将来性についての各論の紹介を行ないます。

多くの皆様のご参加をお待ちいたします。

**参加費
無料**

期日 2011年8月30日(火)

会場 山形県郷土館「文翔館」

住所：山形市旅籠町3丁目4番51号

定員 200名

プログラム

9:00～9:05	幹事長挨拶(主旨説明) 九州大 圓福 敬二	13:20～14:20	【特別講演】100年の歴史に学ぶ超伝導 ～新たな100年の発展に向けて～ JST 北澤 宏一
9:05～9:45	超伝導物質 NIMS 戸叶 一正	14:20～14:55	銅酸化物系線材 フジクラ 飯島 康裕
9:45～10:25	超伝導現象 農工大 内藤 方夫	14:55～15:10	休 憩
10:25～10:40	休 憩	15:10～15:45	超伝導線材応用 —超伝導マグネット技術を中心に— 理研 前田 秀明
10:40～11:20	超伝導材料の電磁現象 九工大 松下 照男	15:45～16:20	超伝導デジタルエレクトロニクス 名大 藤巻 朗
11:20～12:00	金属系線材 低温工学・超電導学会 田中 靖三	16:20～16:55	超伝導アナログエレクトロニクス 豊橋科技大 田中 三郎
12:00～13:20	第2回超伝導分科会論文賞、研究奨励賞授賞式 昼食休憩		

問合せ先

公益社団法人 応用物理学会 事務局 講演会担当
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-22 湯島アーバンビル7F
TEL 03-5802-0862 FAX 03-5802-6250 (7月25日より)